

アジアの子ども達に学校を！

●ワンコイン・スクール

昨夜の春日部地区浦高会・賀詞交歓会の中で、会員の石塚勝巳さん（13期、NPO法人・アジア教育友好協会会員）から、東南アジアでの小学校建設にかかわる温かいお話を伺うことができました。

アジア教育友好協会（AEFA）の活動については、一昨年の総会における会員スピーチで石塚さんからご披露していただいています。今回教えていただいた情報は、「日本の子どもたちが貯めたお金（ワンコイン）でラオスやベトナムに学校が建設され、ラオス・ベトナムの子どもたちからは3・11東日本震災復興に向けたメッセージが送られ、そのお礼にといわき市の子どもたちからは寄せ書き真鯉が届けられる」という話でした。

このワンコインの500円も単なる募金ではなく、子どもたちが意識してお手伝いをして得たお金、アルミ缶収集やバザーなど子どもが自ら作業して得たお金、あるいは“ハンガーランチ”の精神でおやつやおもちゃ等を節約したお金で、同じ地球で学ぶことが困難な状況の子どもたちに学びの場をプレゼントし、交流、夢を共有しようというもので、仙台市立広瀬小学校から広がったそうです。

こうしたワンコインで建設された小学校第1号がラオス南部の「ボンタン小学校」【写真①】だそうです。2010年2月12日の開校式には、広瀬小学校の校長先生も出席し、日本の子どもたちの想いを届けたそうです。



*

◆安倍晋三会長の議員会も

こうした活動に国会でも「アジアの子供たちに学校をつくる議員の会」（安倍晋三会長）が動き出し、約60名の議員さん達が賛同され、年間1校の建設ができる規模の募金が集まっているようで、今年で10校目が完成しているようです。

先月中旬、ベトナムを訪れた安倍総理ご夫妻【写真②】は、ハノイ市内で山岳地帯の子ども達と面談したそうです。



*

素晴らしい交流ですね。

いわき市復興こいのぼり出前授業

“みんなのおかげでがんばれる”

福島県教育委員会より後援をいただき、震災後アジアから届いた応援メッセージを紹介する出前授業を実施。1月25～26日に、いわき市小川小学校・赤井小学校を訪問しました。ベトナム・ラオスの友だちだけでなく、日本中から寄せられた思いを紹介。児童の皆さんの真剣な瞳と熱心な表情に、AEFAスタッフも、思わず心が震えました。

出前授業後、お返しのメッセージを黒い真鯉に全員で寄せ書きしました。

そして子どもたちはこの真鯉を、「いってらっしゃい」とまるで友だちのように送り出してくれました。約200名の熱いメッセージがこめられた復興こいのぼりは、2月にラオスに届けられ、3月はベトナムで、各校を巡回しました。

このこいのぼりは、仙台市澤村範子様から寄贈されたものです。黒・赤・青の3匹のうち青い子鯉は、ワンコイン・スクール第1号ボンタン小の校庭で泳いでいます。



また寄せ書きと共に「わたしの夢」を題に作文も書きました。

「ぼくの夢は世界を元気にするという仕事をしたいこと。」

●真鯉に託されたお返しメッセージ●

- ・これからも笑顔でがんばります。つらい事があってもいっしょにがんばりましょう。
- ・ラオス、ベトナムのみなさん。つらいことがあってもがんばってればいつかいいことがあります。がんばってください。
- ・私たちは原ばつでひなんしているけど、みなさんのメッセージのおかげでがんばれる気がします。これからもおうえんお願いします。
- ・みなさんの思いが僕たちにとって大きな力になりました。ありがとう!!
- ・メッセージありがとうございます。私たちもこれからもがんばっていきたくと思っています。互いに助け合ってください。私たちは大切な仲間です!

「地球のことや世界のことを勉強して世界の人の役にたてるような仕事してみたい。」

震災に遭いながらも、それでもなお世界の人たちのことを思い、周りを笑顔にする役に立ちたいと、自分の夢を語る児童たち。応援のメッセージをお届けするつもりが、みなさんの言葉や姿から、こちらが熱い思いと元気をいただきました。

(コーディネーター 金子 恵美)